

多くの市民の疑問の声を市政に！ 誰もが安心して暮らせるあたたかい市政に！

掛川市議会
日本共産党だより

2019.2.5
第7号



高齢化の
進む中で
責任を持った医療・
介護体制を市の
中で構築する
べきでは
ないのか

安心して医療・介護を 生涯受け続ける施策を

◆勝川 中東遠総合医療センターについて、市民の声をアンケートなどとしてはどうか。待ち時間も実態として解消されていく。

◇市長 市民の声は拾っている。企業団として袋井市も含め検討していく。



中東遠総合医療センター



〈発行〉
掛川市議会
日本共産党
掛川市長谷
1-1-1
〈連絡先〉
勝川しほこ
電話・FAX
22-1325
ご意見・ご
要望をお寄
せ下さい

◆勝川 中東遠を退院した後 の後方支援を行なう包括支 援病棟が市内にないのは問題 では？東病院などに市として 支援を行ない、後方支援体制 の強化を

◇市長 地域完結型医療体制・包括ケアシステムの構築している。東病院とは協定も結び話をしている。

◆勝川 総合医・家庭医といわれる在宅医療を支える往診や看取りの出来るお医者さんの確保と体制づくりを

◇市長 特に南部には開業医が少なく対策が必要。

市民の命と健康に責任を持つのであれば、市内に後方支援病棟や訪問診療体制が整えられる必要がある。

前向きに施策検討を

小中一貫
教育と学校の
統廃合
・再編は

地域の学校の存続に関 わることは、様々な見地 からていねいな検討を

◆勝川 城東・原野谷の地域検討委員会が率先して一体校の方向を示すのはおかしくないのか。



土方小学校

原谷小学校

◇教育長 地域検討委員会
は、今年早々にも答申を出す
予定。3年間の研究の中間報
告も行なった。

◆勝川 小中一貫教育は一体校でなくても全市内で推進される。地区説明会は参加者も少なかった。委員会で様々な角度からの検討がされていない。

◇教育長 学校再編についても来年度から検討に入る予定。

◆勝川 小規模校がダメということはないのでは？

◇教育長 時代のニーズに沿った一定規模の学校が大切だと考えている。

**小規模でも素晴らしい学校はいくらでもあ
る。一貫教育の名目で
安易に小規模校の統廃
合につながる一体校推
進を進めるのではなく、
様々な角度からていね
いな検討を**



駅前再開発は市の事業。
地代の滞納がふくらむ
東街区、民間への売却が
決まった西街区。
市としての責任は？

市として
責任を持った
駅前再開発
のあり方
について

◆勝川 We+1388ストアが
行き詰まり、地代の滞納がふ
くらんでいるが、どのようにし
ていくつもりなのか。今後の展
望は。

◇市長 (株)弥栄の借地料の
滞納は28年度から26ヶ月
1964万9025円。平成30
年4月から25%の減額措置
をしている。来年度からは滞納
分も返済をしていただく。

◆勝川 中心市街地活性化計
画は市で立てたもの。「おおむ
ね計画通りに成功している」と
いう国への報告に市民は違和
感を持っている。今もこの認識
なのか。

◇市長 まちなか居住促進、
交流人口の増加、賑わいの創
出とおおむね成功している。
商業施設については後方支援
していく。

【つらに続く】